

No.	頁数	該当項目	提出者	意見・質問	回答	対応
1	1	現状と課題	原田委員	にいがた市民環境会議会員数は2年連続、ESD環境学習モデル校数は3年連続で減少しているが、理由はあるか。	にいがた市民環境会議会員については、主に高齢化や団体の都合などによる団体の解散により退会しています。そのような中でも、平成30年度は新潟県立鳥屋野潟公園 指定管理者 株式会社アール・ケー・イー様に入会いただきました。 ESD環境学習モデル校数は、例年予定校数を10校としています。支援する学校の予算額は大小あり、予算の範囲内で支援できる上限数を指定しています。	環境政策課
2	2	1 環境教育の推進（環境教育副読本の配布）	原田委員	学校に配布された副読本について、どのように活用されているのか、検証が必要に思う。	平成30年度にアンケートを実施しております。 小学校では、約90%の学校が副読本を利用しており、うち約40%の学校が総合学習の主教材として利用していると回答しています。中学校では、約50%の学校副読本を利用しており、うち約30%の学校が総合学習の主教材として利用していると回答しています。 今後も一定頻度でアンケートを実施し、改定の際の検討材料として活用していきます。	環境政策課
3	5	3 広域連携の推進（1）他の自治体との連携	波多野委員	県をまたがった協力体制などについて、実際の取り組みがあれば教えて欲しい。	県を超えた連携については、大都市環境保全主管局長会議や大都市環境管理計画担当者会議などの各種会議を通じて、情報交換をしています。 また、もみ殻の有効活用を進めるため、富山県射水市と連携協定を締結し、JAなど関係者を交えた情報交換会を毎年行っています。 その他県内の連携としては、新潟広域都市圏ビジョン連携に基づき、阿賀野市、新発田市、本市の3市において、福島潟及び瓢湖の賢明な活用策の一つとして、エコツーリズムに関する取り組みを進めるための地域関係者研修会を開催するなどしています。	環境政策課
4	12	3 低炭素型交通への転換（都心アクセスの強化）	波多野委員	電車とシニア半わりを利用して都心（新潟駅・万代・古町など）へ出たいが、亀田駅前の駐車料金が都心よりも高いため、便利さを優先して車で出向いてしまう。 駅駐車場は長時間止められないように高く設定しているのか。亀田駅前の駐車場は空きが目立つので、なんとかならないか。	本市が所管するJR亀田駅周辺の駐車場については、パークアンドライド利用を目的とした「亀田駅東パークアンドライド駐車場」と、送迎等の際のロータリーへの駐停車防止を目的とした「亀田駅西口駐車場」、「亀田駅東口駐車場」があり、ご指摘の駐車場は送迎等の際にご活用してもらうよう、最大料金を高く設定し、かつ当初の30分は無料としています。 いただいたご意見を参考にしながら、都心アクセスの強化に資する駐車場の活用策について検討していきます。	都市交通政策課
5	15	評価指標の達成状況	菅井委員	表中の目標年度は、2018年度でよいか。	「低炭素社会の創造」の目標年度は、地球温暖化対策実行計画（地域推進版）に合わせての目標年度（2018年度）となっております。	環境政策課
6	15	評価指標の達成状況	菅井委員	2018年度の1世帯あたりの電気使用量の実績値はないか。	県のデータを基にしているため、2018年度の実績はまだ算定できません。	環境政策課
7	16, 17	現状と課題 1 家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働（高齢者、単身世帯、転入者などへの対応）	鹿島委員	新ごみ減量制度の実施に伴い、家庭ごみの総排出量の大幅な減量と資源化に成功していることは喜ばしい限りだが、分別意識の向上により、さらに資源化の促進に繋がると思料する。その為には、広報活動の展開や自治会との連携が大切である。 分別については、ごみ分別百科事典や家庭ごみの分け方・出し方は、個人的にはイラストも多く使いやすい。これをもう少し工夫すると、小学校低学年でも分別意識が促進されるのではと思う。 市民一人一人の意識の向上が、循環型社会促進に繋がると思う。	ごみ分別百科事典、家庭ごみの分け方・出し方につきましては、本市の10種13分別とごみの出し方を市民周知するために作成しているものです。 いただいたご意見につきましては、視覚的に理解しやすいということも意識して、今後も手に取って見やすく、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。 また、幼少期から分別意識を育む取り組みとしまして、現在、希望制ではありますが、清掃事務所による出前授業を保育園やひまわりクラブ向けに、小学4年生の総合学習で取り扱う環境に関する学習では出前講座を実施しており、興味と理解の度合いに適した内容を提供しております。 ごみの減量・資源化を推進するために、市民・事業者への情報提供や子ども・若年層を対象とした環境教育の充実に努めます。	循環社会推進課 廃棄物対策課
8	22	評価指標の達成状況	菅井委員	表中のリサイクル率が大変低い、サーマルリサイクルの量も資源化量に入っているか。	リサイクル率は、収集・搬入ごみ、拠点回収、集団資源回収からの資源化量をごみ総排出量で除した数字であり、サーマルリサイクル（熱回収）は含みません。なお、人口50万人以上の都市におけるリサイクル率において、近年、本市は第2位を維持しています。	循環社会推進課
9	30	1 環境負荷の抑制（河川・湖沼及び海域の水質測定）	菅井委員	水環境の保全について、長い間、測定した結果が環境基準を達成しているか否かだけが評価されてきた。特に信濃川下流の海域ではずっと環境基準を達成できていないので、その改善に尽力を尽くすべきではないか。	海域の環境基準超過につきましては、衛生環境研究所とともに原因究明を行っているところです。本審議会において衛生環境研究所から現時点までに調査状況について報告させていただきます。	環境対策課

※この他の語句の修正や追記などについてのご意見につきましては、次年度の検討課題とさせていただきます。